

(代表質問)

質問日	令和 6 年 6 月 4 日 (火)		質問方式	分割方式			
質問順位	2	会派名	市民クラブ	議席番号	38	氏名	北野谷 富子
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 県との連携について (1) 基本協定書に関する県単独助成事業の見直しについて (2) 多目的ドーム型スタジアムの早期建設促進について	本年 5 月 26 日 投開票の県知事選挙にて、新たな県知事が誕生した。これまでも様々な節目に、県との連携を強めてきた本市だが、それ以上の連携を今後期待せずにはいられない。 (1) 静岡県では、平成 30 年 10 月からこども医療費助成の対象を高校生まで拡充したが、政令市である本市と静岡市は当初、対象から外すこととされた。しかし、その後の協議により、令和元年 10 月から令和 4 年度末までの間、一部助成が実施されたものの、現在は終了している。 この取扱いの根拠とされているのが、平成 19 年の政令市移行に先立ち、平成 17 年に当時の北脇浜松市長と石川静岡県知事が締結した基本協定書である。 社会課題も締結当時とは大きく変化しているなかで、基本協定書に記載されている県単独助成事業について見直しをしていくべきと考えるが、市長の考えを伺う。 (2) 多目的ドーム型スタジアムの早期建設に向けて、本年 3 月に浜松商工会議所会頭をはじめ、市議会各会派代表者の数名が県へ要望書を提出した。本市としても 2 万 2000 人規模のスタジアムを要望していることから、今後の県との調整についてどのように進めていくのか伺う。						中野市長
2 「流域治水」の推進について	本年 3 月に浜松市総合雨水対策計画の見直しが行われた。この計画では多くの重点対策エリアで貯留施設の整備が計画されており、これからの水災害対策として、大いに期待するところである。 また、「特定都市河川浸水被害対策法」をはじめとした 9 つの法律を一体的に改正する「流域治水関連法」が令和 3 年 11 月 1 日に全面施行され、全国で特定都市河川の指定の動きが広まっていると聞いている。本市を流れる 1 級河川安間川や 2 級河川馬込川においても、沿川で宅地化が進んでいることから、県とともに特定都市河川に指定し、県が行う河川整備の促進とともに流域からの雨水流出量の削減を目指すべきと考える。 また、国土交通省では令和 3 年度から官民連携によるワンコイン浸水センサーの開発をすすめており、全国で実証実験を展開しているが、今年度、本市もその実証実験に応募したと聞いている。 そこで、以下について伺う。 (1) 浜松市総合雨水対策計画における貯留施設整備の取組について伺う。						平井土木部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	(2) 全国で特定都市河川の指定が活発に行われているなか、静岡県も1級河川安間川や2級河川馬込川などの県管理河川の特定都市河川指定を進めていくと思われるが、本市としての所見を伺う。 (3) 国が進めるワンコイン浸水センサーの実証実験において、本市として期待する効果について伺う。	長田副市長 平井土木部長
3 安心を与える学校運営のために	昨年度、静岡県内の小・中学校の教員が、定数に対して不足している状態で新学年のスタートを切っていたことが分かっている。これは、新しいスタートに際し、学校運営に不安を与えてしまっている現状と言える。 本市は、年度当初の定数未配置を0人と報告しているが、その反面、年度途中の産育休や休職等に対する代替教員が十分に手配できていない状況とも聞いている。 本市として、子供たちや教員がより安心して学校生活を送るためにも、年度途中から勤務が可能な教員を確保し、年度途中の支援も充実させていく必要があると考える。 本年1月に文部科学省が実施した教師不足の解消に向けたアンケートによると、他市はペーパーティーチャーに対する取組が目立っていた。実際、教員になったが何らかの理由で離職した方や、教員免許状は取得したが他業種へ就職した方など、様々な状況の方がいると思われる。年度途中の人材確保や支援充実のための手段として、ペーパーティーチャー対象の相談会など、教員免許状を取得したが、現在学校で勤務していない方に、一人でも多く学校に関わっていただけるよう働きかけてはどうかと思うが、考えを伺う。	奥家学校教育部長
4 「スポーツ文化都市・浜松」の環境整備について (1) 「する」スポーツについて (2) 「みる」スポーツについて	(1) 本年度までとなっている第2期浜松市スポーツ推進計画では、障がい等を問わず、市民一人一人がライフスタイルの一部にスポーツを取り入れ、心身ともに健やかで、豊かな生活を営むことができるまち「スポーツ文化都市・浜松」の実現を目指すため、多種多様な施策を推進するとしているが、施設の老朽化など、様々な事由で「する」スポーツが身近ではなくなってきていると感じる。今後、生涯スポーツの振興を促進するために欠かすことの出来ない、「する」スポーツの環境を整える考えはないか伺う。 (2) スポーツによる地域振興を推進していくうえで、滞在型の「する」「みる」「支える」という観点から創起される大型スポーツイベント等誘致事業が非常に効果的な	杉田スポーツ振興担当部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	手法だと考える。国内外からの観光交流人口が拡大しており、イベント前日からの宿泊や会場までの移動などにより、自然と滞在時間が増えることで経済効果も期待できる。 しかし、本市の施設は「みる」スポーツを効果的に演出できるものが少なく、大会の開催地として選んでもらうためには、「みる」スポーツを効果的に演出できる施設を増やしていくことが重要である。これからの「みる」スポーツの環境整備について考えを伺う。	
5 文化活動を停滞させない取組や多様化する文化芸術活動への対応について	現在、本市は浜北文化センターの改修を進めているが、その後はアクトシティ浜松の大規模改修を進めることとなる。楽器博物館、研修交流センターのあるDゾーン、展示イベントホールのあるCゾーン、大ホール・中ホール・コンgresセンターのAゾーンの順に、ゾーンごとに改修を進めていくということだが、特にAゾーンの改修工事に伴う休止期間は22カ月と長期にわたる。 一方、書道部による音楽や表現運動が融合した書道パフォーマンス、多くの若者に人気のある軽音楽、パソコンで音楽制作するデスクトップミュージック、中学校で必修化されたダンス等、市民の文化芸術活動は年々多様化している。 そこで、アクトシティ浜松の大規模改修工事に伴う休止期間中の市民の文化活動を停滞させないための取組や、多様化する市民の文化芸術活動への対応について考えを伺う。	嶋野文化振興 担当部長
6 さらに魅力ある動物園にするため (1) ゾウの展示について (2) 来園者数を増やすために	(1) 本市の子供たちに多くの感動と命の尊さを学ぶ機会を与えてくれたアジアゾウの「ハマコ」が死んだことから、浜松市動物園からゾウがいなくなり、未だゾウ舎は空き獣舎となっている。動物福祉的な観点やワシントン条約等により、ゾウを復活させるためには高い壁があることは承知しているが、動物園にゾウを復活させることで、魅力を発信できると考える。今後のゾウの展示についてどのように考えているのか伺う。 (2) 動物たちを通じて「いのち」の大切さを伝えていく、来園者が楽しく学べる場をつくる等、来園者の満足度を高める浜松市動物園再生基本計画を平成28年度に策定しているが、本年度、その見直しを実施すると聞いているのか。また、見直しの目的や内容、今後來園者を増やすために、どのような考えをもっているのか伺う。	中村花みどり 担当部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
7 カーボンニュートラル実現に向けて (1) 浜松新電力の事業展開について (2) 「重点対策加速化事業」の展開について	(1) 本市は、本年3月に浜松新電力への増資を行い、筆頭株主となった。これまで以上に経営への関与を強め、責任を持って再生可能エネルギーの地産地消やエネルギーによる地域経済循環などを進めていくものとする。これまでは、市有施設への供給を中心に実施してきたが、今後は市の脱炭素政策と連動する形で、地域企業などの民間需要家への供給拡大を積極的に進めていくと伺っている。今後、カーボンニュートラル実現に向けた浜松新電力の役割はますます重要になっていく。 その具体的な事業展開、特に地域企業についての考えを伺う。 (2) 先日、本市が環境省の「重点対策加速化事業」の採択地域の1つに選ばれ、今後5年間で総額11億円の交付金支援をいただけることになったとのことである。 この事業では、地域企業のカーボンニュートラル対応を加速化していくため、太陽光発電や蓄電池、省エネルギーにつながる高効率空調や高効率照明の導入に対して補助金を交付していくとのことである。こうした補助金については、広く地域企業に周知し、活用を促していくことが必要であるとする。 そこで、今回採択を受けた「重点対策加速化事業」の今後の具体的な事業展開について伺う。	袴田カーボンニュートラル推進事業本部長
8 交通事故対策について	先月、浜名区新原でゴミ収集車と小学4年生の児童が衝突する痛ましい事故が発生した。現場は見通しが悪いわけでもなく、地域から要望書が出されていたわけでもない。しかしながら、この事故によって地域には大きな衝撃が起きている事実を踏まえ、早急な対応と、安全対策の強化が求められる。 そこで、以下について伺う。 (1) 学校現場での交通安全教育について (2) ゴミ収集車の安全指導について (3) 各地域からの安全対策要望への対応について	奥家学校教育部長 山田環境部長 平井土木部長